

令和7年度 第1回渋谷労働基準監督署管内
大規模建設現場災害防止協議会（安全衛生パトロール）を実施しました



日時：令和8年2月24日（火）
場所：東京都渋谷区代々木2丁目1番3号
現場名：株式会社竹中工務店東京本店 JR東京総合病院病棟外新築他工事



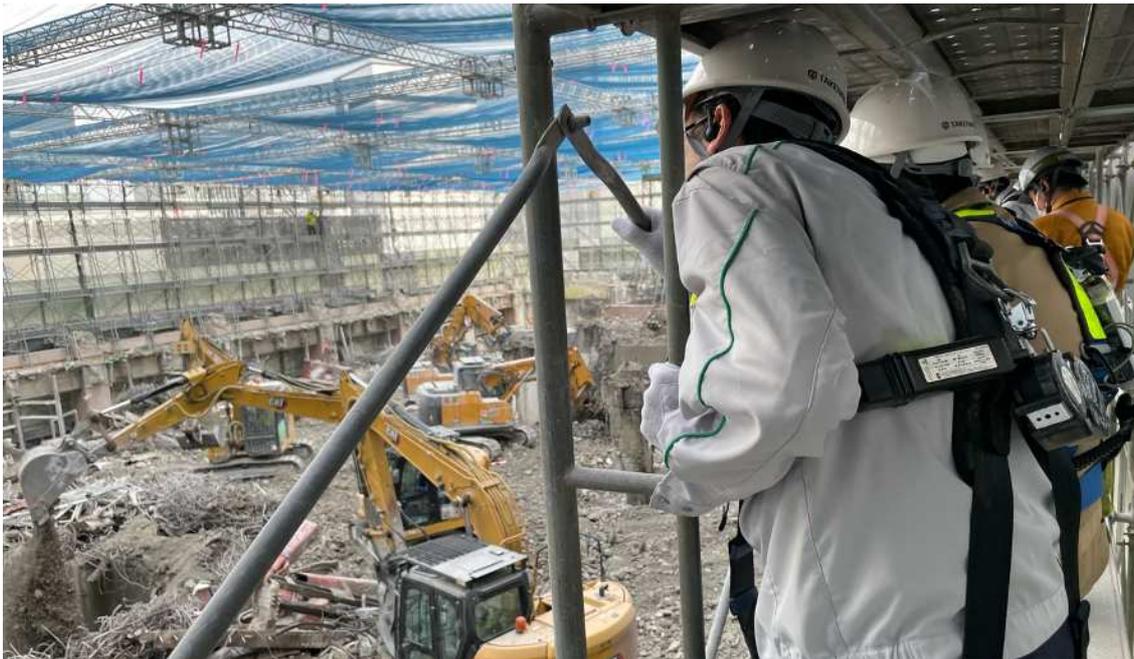
パトロールに先立ち挨拶をされる竹中工務店 柳澤所長



現場事務所前からパトロールを開始する会員一同



開口部への墜落防止対策や建設機械との接触防止対策等を確認する会員一同



解体作業に伴う物の飛来落下防止対策等を確認する会員一同

外部足場組立時の飛来落下災害防止対策

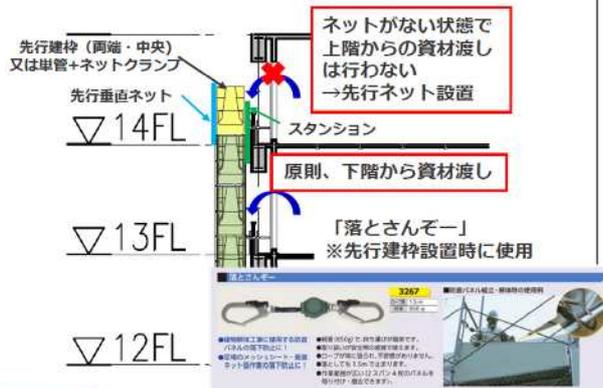
目的

外部足場組立時に資機材等の外部への落下を無くす

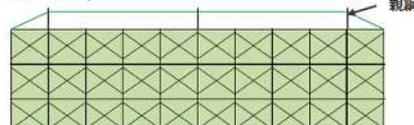
実施内容

外部足場組立時、手順を明確に定め先行垂直ネットを設置する

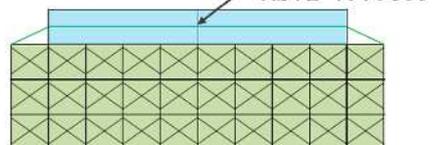
1. スタンションにてトップアンチ上に親網設置
2. 足場組立を行う両端、中央に「落とさんぞー」を使用し先行で建枠を設置し垂直ネットを枠上に設置（下階から資材渡し時）上階から資材渡しを行う場合には、下階から単管にネットクランプを取付け、下階から垂直ネットを先行設置する
3. 垂直ネット内で足場の架設を実施する



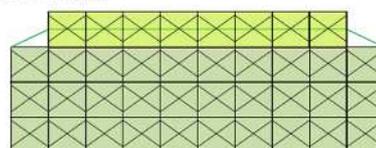
1. 親網設置



2. 先行垂直ネット



3. 足場組立



効果

S：外部足場組立時の飛来落下災害ゼロ

©Takenska Corporation

外部足場組立時の飛来落下災害防止対策（提供：竹中工務店）

外部足場解体時の飛来落下災害防止対策

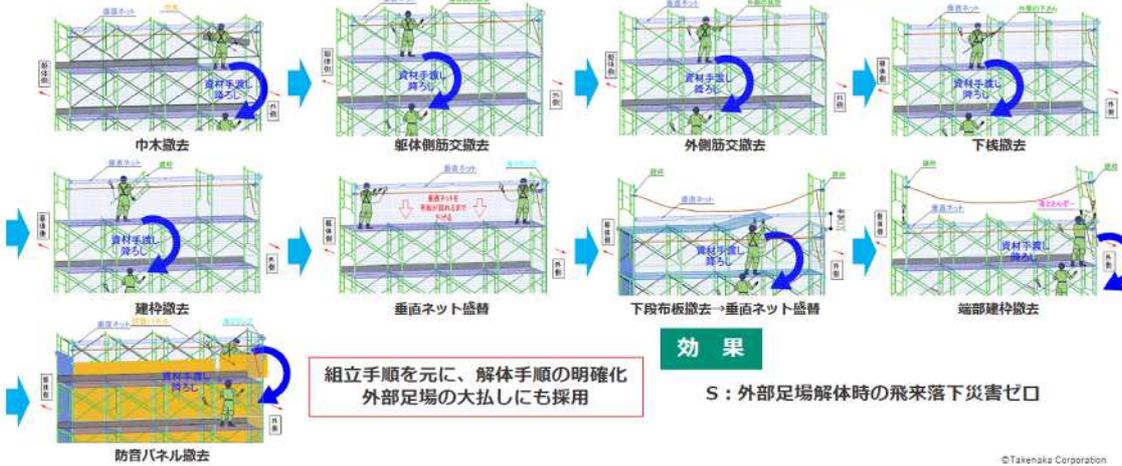
目的

外部足場解体時に資機材等の外部への落下を無くす

実施内容

外部足場解体時、手順を明確に定め垂直ネット内作業を実施する

1. 垂直ネットを残したまま、垂直ネット内で足場解体を実施する
(中木→筋交→下桟→建柱)
2. 垂直ネットを下段布板が隠れるレベルまで下げる
3. 下段の布板を取り外し垂直ネットを建柱頂部に下げる
4. 両サイドの建柱を落とさんぞーを使用し取り外す
5. 下段の防音パネルを撤去し、ネットクランプを逆さにする



©Takenaka Corporation

外部足場解体時の飛来落下災害防止対策（提供：竹中工務店）

補助手摺(感知バー)のない立ち馬の転落防止の工夫

目的

補助手摺(感知バー)のない小型の立ち馬における床端部からの転落防止

実施内容

手掛かり棒にピンクテープを取付けることで床端部の視認性を向上させた

対策前



対策後



使用状況



効果

- S：安全性を確保した施工発光色の為、視認性が上がった
- M：当該対策は協会社職長が自主的に発案した対策
※災害事例を見て対策を職長自ら立案し実行（自主性の定着）

補助手摺（感知バー）のない立ち馬の転落防止の工夫（提供：竹中工務店）



パトロール終了後に講評を行う渋谷労働基準監督署担当官

【パトロールを行った建設現場】

株式会社竹中工務店東京本店 JR東京総合病院病棟外新築他工事

工事期間：令和2年6月～令和10年6月（予定）

以下解体工事の対象となる建物の概要

構造：鉄骨造、鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造

階数：地下2階、地上16階、塔屋1階

建物用途：病院

・「渋谷労働基準監督署管内大規模建設現場災害防止協議会」について

渋谷世田谷区区域における大規模建設現場の重篤な災害の撲滅はもちろんのこと、労働災害「ゼロ」、第三者災害「ゼロ」、公衆災害「ゼロ」、鉄道運行支障「ゼロ」を目標として、同区域の安全を確保するための各作業所の自主管理の向上を目的とした、大規模建設現場作業所を対象とする関係者の協議組織